

事業の中間ご報告

いちよし証券

証券コード：8624

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

目次	
ごあいさつ	1
第2四半期連結決算のご報告および中間配当について	1
「改革の断行」と中期経営計画「アタック3」最終年度にあたって	2
会社情報	



売れる商品でも、
売らない信念。

私たちは、お断りする事があります。

【いちよし基準】＝「個人のお客様向け商品についての原理原則」

- 公募仕組み債は取り扱いません。
- 債券は高格付けのみとし、不適格債は取り扱いません。
- 私募ファンドを取り扱いません。
- 個別外国株は、勧誘しません。
- 投信運用会社は、信頼性と継続性で選びます。
- 先物・オプションは勧誘しません。
- FX（外為証拠金取引）は取り扱いません。

私たちは、この「いちよし基準」を20年来守り続けています。

選ばれ続ける証券会社へ。

いちよし証券



お客様独自のオーダーを
仕立てる信念。

私たちは、為すべき事があります。

- お客様ひとりひとりに最もふさわしい一着を仕立てあげる「テーラー」のように、いちよし証券は、お客様のオンリーワンのパートナーとして長くお取引いただける会社を目指しています。
- お客様のニーズを十分にお聞きし、お客様のご意向に沿ったポートフォリオをご提案いたします。
- 市場変動やお客様のニーズの変化に応じて、ポートフォリオのアフターフォローに努めます。

選ばれ続ける証券会社へ。

いちよし証券

※ 「売れる商品でも、売らない信念。」の「いちよし基準」につきまして詳しくは、当社HP (<https://www.ichiyoshi.co.jp>) をご覧ください。



皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルスに罹患された皆様、昨今の度重なる自然災害により被災されました皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早いコロナ禍の終息と早期の回復・復興をお祈り申し上げます。

ここに第81期中間期（2022年4月1日から2022年9月30日）における当社および当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

当中間期は、米国の金融引き締めや高インフレなどの影響を受けたマーケット環境となり、当社におきましても厳しい半年となりました。

このような環境下、当社では、末永くお客様に安心・安全にお取引いただけるよう、当社が長年にわたり大切にしている対面外交を軸に「お客様本位」のアドバイス活動に取り組んで参りました。当社は引き続き、真の「お客様本位」の業務運営をより一層推進し、預り資産の拡大を核とした持続的な成長の実現に努めて参りますので、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表執行役社長 玉田 弘文

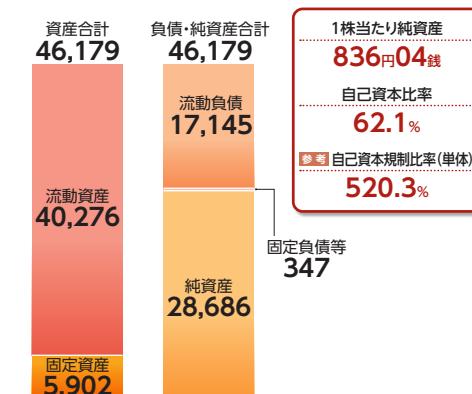
第2四半期連結決算のご報告および中間配当について

■ 第2四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



(2022年4月1日～2022年9月30日)

■ 第2四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



(2022年9月30日現在)

■ 中間配当について

中間配当
1株当たり17円

〈配当に関する基本方針〉
連結ベースでの配当性向(50%程度)と純資産配当率(DOE2%程度)を配当基準とし、半期毎に算出された金額について、いずれか高いものを採用して配当金を決定しております。当第2四半期の剰余金の配当方針は連結純資産配当率を採用させていただきます。

「改革の断行」と中期経営計画「アタック3」最終年度にあたって

当社は長年、お客様との信頼関係を何より一番としたサービスのご提供を続けて参りましたが、コロナ禍を含めた急速な環境変化に迅速に対応すべく、現在、お客様本位の業務運営をさらに推進するための20年振りの「改革の断行」を進めております。

その一環として経営陣の大幅な若返りとスリム化を実施するとともに、地区アドバイザー本部制を廃止し、営業推進体制を従来の本社本部主導から支店主導の体制に切り替え、地域特性に沿った1人1人のお客様のニーズに細やかに応え得るような体制を整える等、真にお客様本位といえる業務運営のための様々な改革を現在進めております。

当社は20数年来、「仕組み債」等のリスク・リターンが複雑でお客様による理解が難しい、お客様のためにならない商品は取り扱わないという7つの原則「いちよし基準」を掲げ、「売れる商品でも、売らない信念」として売買取手数料中心のフロー型ビジネスモデルから、投資信託の信託報酬やラップフィーなどの安定収益を中心とした「ストック型ビジネスモデル」への転換を目指して参りました。この度の「改革の断行」は、中期経営計画「アタック3」のもと、最重要経営指標である「預り資産」の拡大をさらに進め、「ストック型ビジネスモデル」への転換をより一層推進することを目標にしており、新たに、お客様のために為すべきこととして「お客様独自のオーダーを仕立てる信念」をもう一つの柱として掲げております。

引き続き、「ブランド・ブティックハウス」の山頂を目指して、当社の強みであるいちよしのグループ力（いちよし証券のアドバイスカ、いちよし経済研究所のリサーチ力、いちよしアセットマネジメントの運用力）とコンプライアンス力（お客様満足度）を活かし、「改革の断行」の基本戦略を柱に、預り資産の拡大を核とした成長の実現に努めて参ります。

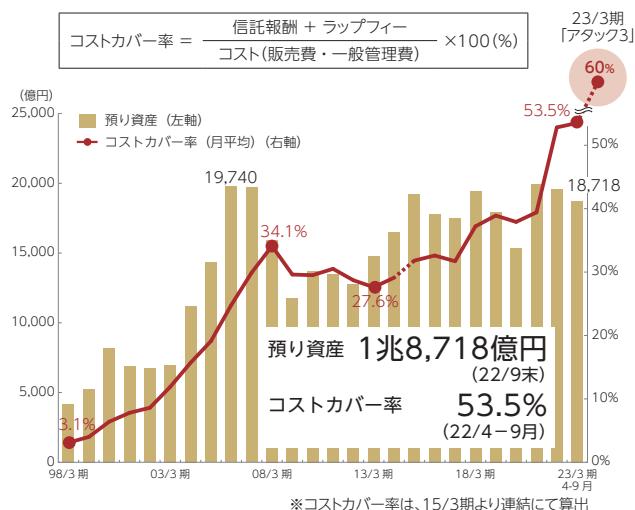
■ コストカバー率60%へ

当社におきましては、投資信託の信託報酬やファンドラップのフィーなどの安定収益の販売費・一般管理費全体に対する比率である「コストカバー率」を重要な経営指標の一つとしております。

中期経営計画「アタック3」におきましては、「お客様本位のストック型ビジネスモデル」を構築するため、2023年3月末までの3年間で、預り資産3兆円への拡大とコストカバー率60%の達成を目指しております。

コストカバー率は対面証券会社の中で業界トップクラスを維持しており、当第2四半期においては53.5%（半期ベース）となりました。マーケット環境に左右されにくい安定的な収益構造の構築の実現に向けて、着実にビジネスモデルの転換が進んでおります。

<預り資産とコストカバー率の推移>



会社情報

会社概要

(2022年9月末現在)

会社名	いちよし証券株式会社(証券コード: 8624) Ichiyoshi Securities Co., Ltd.
創立	1950年8月18日
本社所在地	東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号 東京証券会館
代表者	代表執行役社長 玉田 弘文
電話	03-4346-4500(代表)
資本金	145億77百万円
純資産	286億86百万円
自己資本比率	62.1%
自己資本規制比率	520.3% (単体)
従業員数	1,013名
営業拠点数	52カ店 (2022年10月末現在)

株式事務のご案内

事業年度	4月1日~翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場金融商品 取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.ichiyoshi.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)

いちよし証券の 提供番組ご案内

「暦に集う」

毎週日曜よる8時54分~

ABS朝日



語り/三田寛子 企画協力/CFA 制作/BS朝日 テレコムスタッフ

横浜支店移転・リニューアルオープン

首都圏の代表的店舗である横浜支店を本年9月26日に移転・リニューアルオープンいたしました。

横浜高島屋様のはす向かいという好立地を生かしてお客様の
利便性向上に努めて参ります。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用して印刷
しています。